

新水道ビジョン（平成25年3月策定）

【基本理念】 地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道
～世界のトップランナーのバトンを未来へつなぎ、水道を次の世代に継承～

水道の理想像

■時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道

〔安全な水道〕

安全

全ての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲む水道

〔水道サービスの持続〕

持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

〔強靱な水道〕

強靱

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

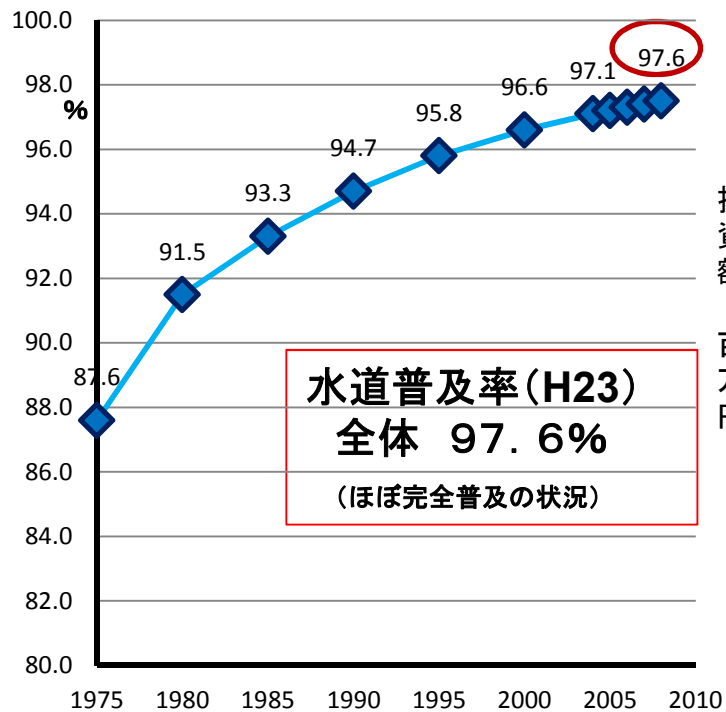
50年後、100年後を見据えた水道の理想像を提示し、関係者間で認識を共有

老朽管更新の課題①

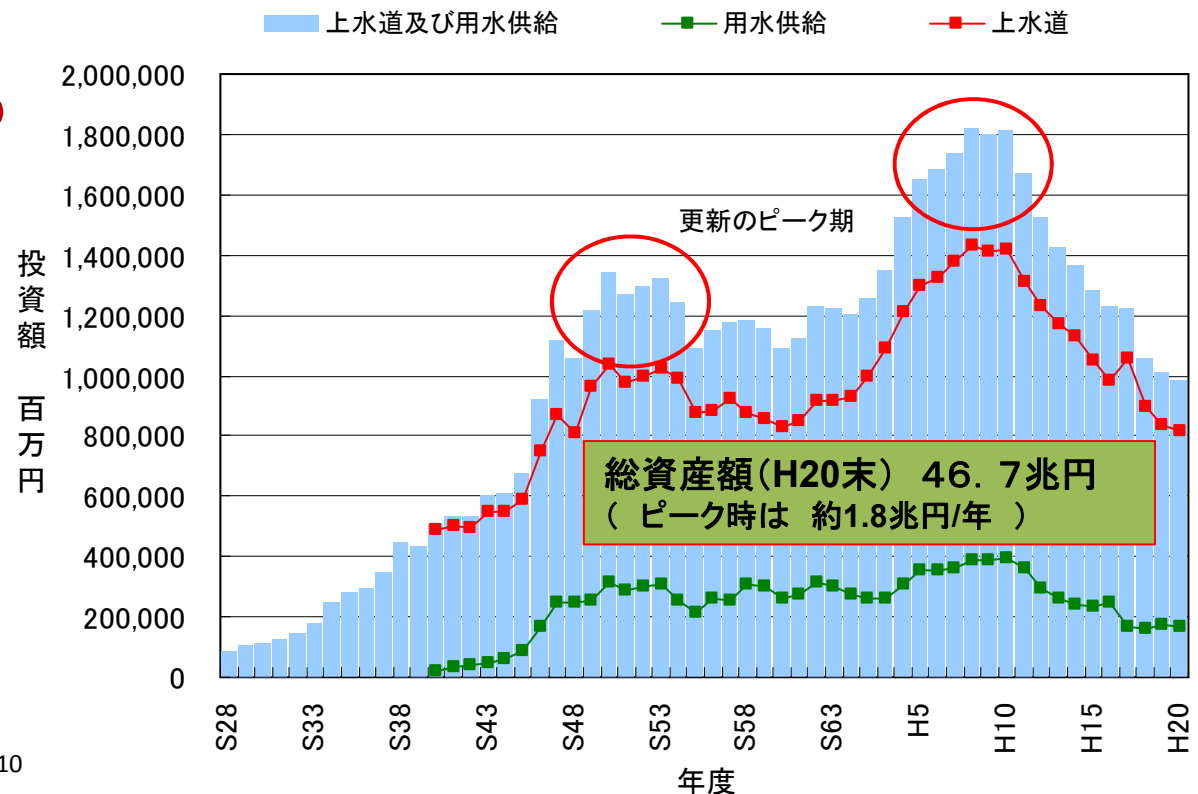
水道普及率と投資額の推移

- 我が国の水道普及率は、高度経済成長期に大幅に伸び、平成23年度末で97.6%と、ほぼ完全に普及した状況に達している。
- 水道施設の総資産(H20末現在)は、46.7兆円と試算される。

水道の普及率の推移



水道事業における投資額の推移 (平成20年価格)



出典：水道統計

老朽管更新の課題 ②

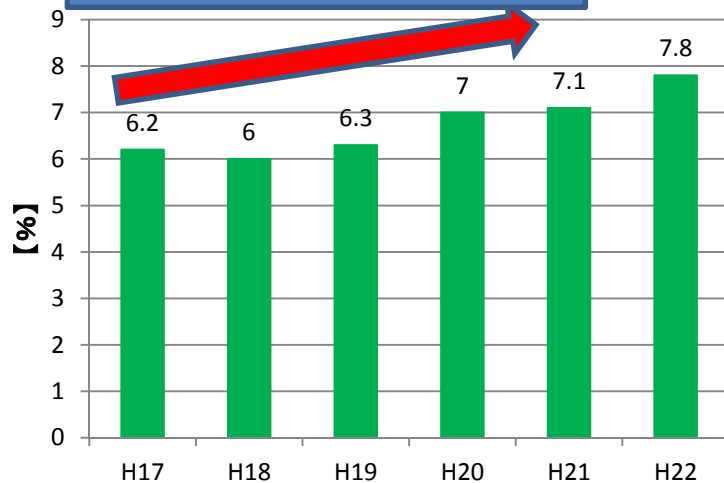
水道管路の経年化と更新

- 水道管路は、法定耐用年数が40年であり、高度経済成長期に整備された施設の更新が進まないため、管路の経年化率（老朽化）は、ますます上昇すると見込まれる。

管路経年化率(%)

$$\frac{\text{法定耐用年数を越えた管路延長}}{\text{管路総延長}} \times 100$$

○年々少しずつ経年化率が上昇
→ **老朽化が進行。**



老朽管の更新



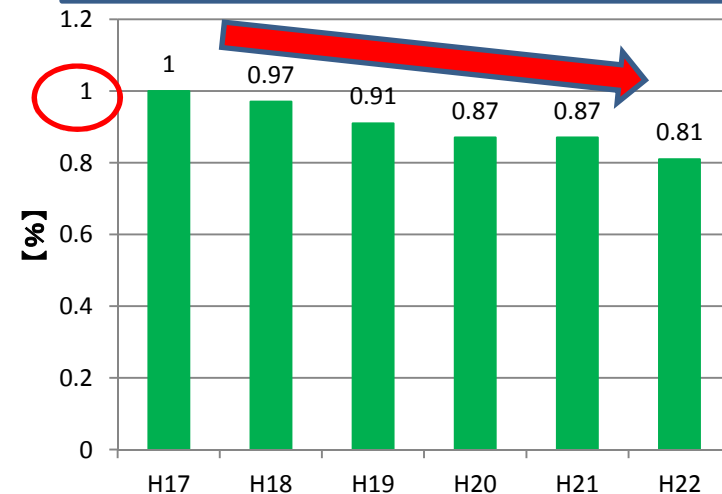
更新



管路更新率(%)

$$\frac{\text{更新された管路延長}}{\text{管路総延長}} \times 100$$

○年々少しずつ更新率が低下
→ **管路更新が進んでいない。**

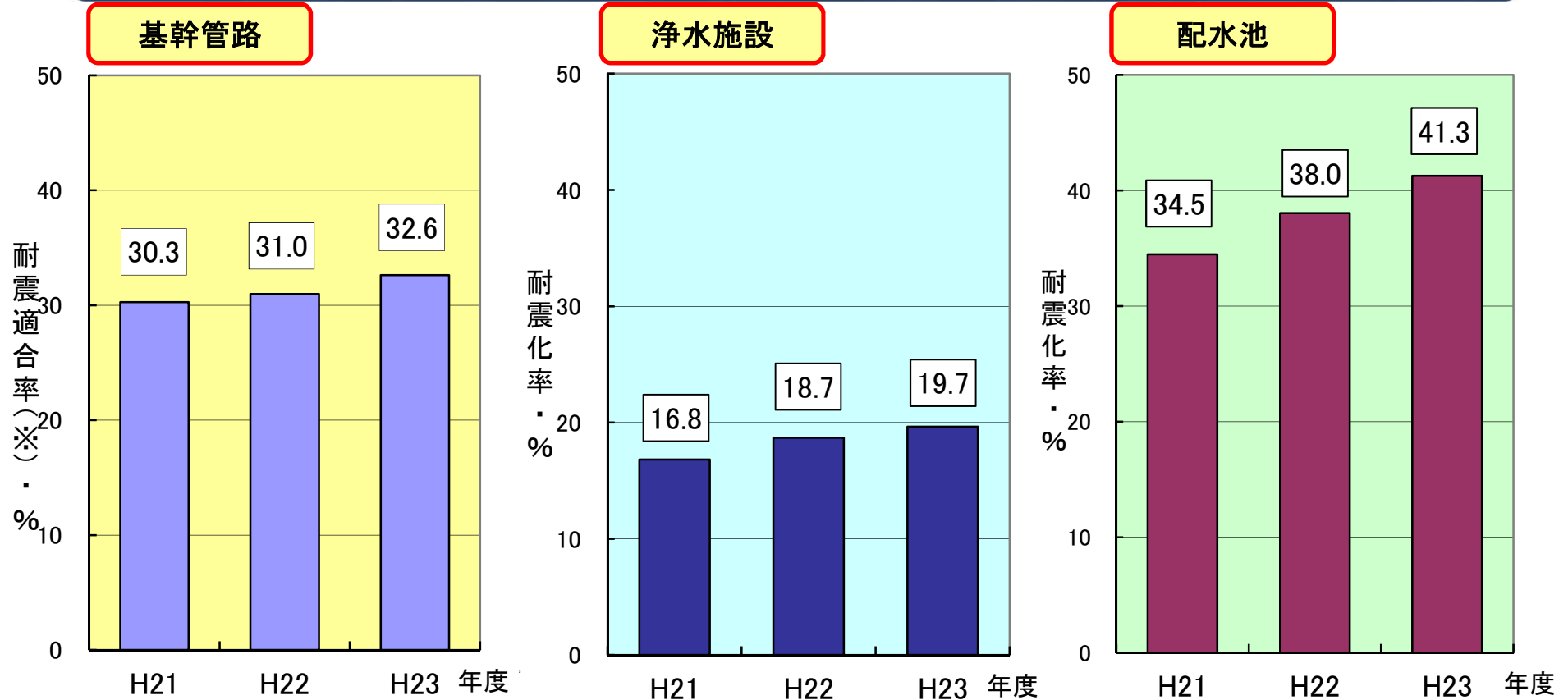


○今の更新率(1%以下)から単純に計算すると、
全ての**管路を更新するのに約100年かかると想定**される。

水道施設耐震化の課題

水道施設の耐震化率等の推移

- 老朽化施設の更新が進まないため、耐震化率・耐震適合率も上がらない。
→ 耐震化が進まない。



(※)耐震適合率=(耐震適合性のある基幹管路の延長)/(基幹管路の総延長)

地震時でも継ぎ目の接合部分が離脱しない構造の耐震管に加え、耐震管以外でも管路が布設された地盤性状を勘案すれば耐震性があると評価できる管を含めて「耐震適合性のある管」としている。

水道におけるアセットマネジメントの推進

水道施設の大規模更新に備えるため、水道の特性を踏まえつつ、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された「アセットマネジメント」の実践が必要不可欠である。

平成21年7月に「水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)に関する手引き」を策定

アセットマネジメント実施上のポイント

中長期的視点（概ね30～40年以上）

技術的検討

更新需要の把握

- 基礎データ（施設、管路の布設年度、法定耐用年数等）の整備
- 老朽化進行状況の把握

機能診断等に基づく更新時期の精緻化

- 耐震診断、地盤調査の実施による更新時期の判断

財政的検討

財政収支見通し

- 料金収入の推移
- 人口等の社会情勢の推移

資金確保計画の検討

- 料金設定の適正化
- 民間資金の活用可能性の検討
- 経営効率化方策の検討

技術的根拠を有し、財源の裏付けのある更新・耐震化計画の策定及び実行

第55回「水道週間」とは

【期 間】

平成25年6月1日（土）から6月7日（金）まで

【趣 旨】

国民各層に対して、水道事業の現状や、より質の高い安全で良質な水を安定的に供給するための課題について理解を深め、今後の水道事業の取組について協力を得るために「水道週間」を設け、関係者が連携して広報活動等を重点的に実施するもの。

昭和34年から毎年実施しており、本年度で第55回目。

【スローガン】

“復興の未来と生命（いのち）照らす水”

【実施目標】

災害に強い水道づくりのための水道施設・管路の耐震化の促進についてや、安全で良質な水道水の供給を確保するための水道水源の水質保全や高度浄水施設の整備等について、国民の理解を求める。

【記念行事の開催】

第55回目の節目となる本年度は、「水道週間記念行事」を都内で開催する。

水道週間記念行事 概要

■開催名称 : 平成25年度 水道週間記念行事
～復興の未来と生命(いのち) 照らす水～

■主催 : 水道週間記念行事実行委員会(11団体)

厚生労働省
東京都水道局
公益社団法人 日本水道協会
全国簡易水道協議会
公益財団法人 水道技術研究センター
一般社団法人 日本水道工業団体連合会

公益財団法人 給水工事技術振興財団
一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
全国管工事業協同組合連合会
株式会社 日本水道新聞社
株式会社 水道産業新聞社

■実施日程 : 平成25年6月1日(土)

■実施時間 : 11時00分～17時00分
※12時30分～15時00分(ステージ)

■会場 : 東京ミッドタウン アトリウム(東京都港区赤坂9-7-1)

■実施内容 : <<ステージ>>

第一部 12:30～13:00

▼記念式典(記念演奏、主催者挨拶等)

<<イベントステージ>>

第二部 13:30～14:15

▼トークショー さかなクン(東京海洋大学客員准教授)
横山 林沙(ミス日本 水の天使) 他

▼水道クイズ大会

第三部 14:30～15:00

▼水道キャラバン

<<その他>>

▼パネル展示

▼ワークショップ

A/『水をつぶやきを書こう』

B/『水の音を楽しもう～水琴窟体験コーナー～』

■併 催

▼東京都水道局 主催

「高度100 東京水飲み比べ1万人
キャンペーン」

・実施時間/11時～17時開催

・実施内容/

東京水とミネラルウォーター
を飲み比べ、どちらが水道水か
を当てる。

▼水資源機構によるブース出展